

蜘蛛の糸を読んで

題「ハスの見たものは…」

3年 島 陽樹

なぜ、お釈迦様は犍陀多を選んだのか。

お釈迦様は、たまたま目に留まった人にチャンスを与えようとした。そして、その男が犍陀多であっただけなようだ。

しかし、僕はこう思った。偶然犍陀多に目が留まったとしても、僕がお釈迦様だったら絶対に犍陀多だけは地獄の血の池から助け出そうとは思わない。それよりだったら、犍陀多よりも慈悲の心があり、自分が犯した過ちを深く反省している人を助け出すと。

それでもお釈迦様が犍陀多にチャンスを与えたのはどうしてだろう。平気で人を殺したり人の家に火を付けたりと人間とは思えないことを数え切れないほどしてきた犍陀多でもくもを助けるという善い行いをした。もしかしたら、自分の犯した罪を悔い改め、反省の気持ちを示してくれるだろうという一分の望みを抱いたのかもしれない。

犍陀多の方は、地獄で長い間苦しい思いをしてきたところに、天からの助けである糸が降りてきたのだから、それを一心不乱に登っていく。しかし、途中、彼は自分の後に続いて登ってくる沢山の罪人たちに気付く、糸から降りるように怒鳴った。そして、次の瞬間、無情にも糸は切れてしまうのだ。

僕は犍陀多は本当に哀れな人間だと思う。確かに犍陀多の気持ちも分からないわけではない。これ以後、二度と現れることのない地獄から逃れるためのチャンスなのだから…。最後の頼りない光をなんとしてでも壊さずに登りきりたいと思う気持ちは分かる。

しかし、犍陀多と同じように、罪人たちもまた「自分も助かりたい」と思うはずである。理性を失っている罪人たちが、何を言われたところで登っていく手を休めるはずがない。とすれば、下を気にせず上へ登っていけばよかったのではないかと…。そう僕は思うのだ。

だが、この考えは自分が読者であるから言えることであり、自分が犍陀多と同じ立場であれば、まず冷静さを失ってしまっているだろうから、犍陀多と同じ道を歩んでしまう気がする。

また、この話を読んでみると、幾つか考えざるを得ないことがある。そのうちの一つはなぜ、犍陀多は悪事をたくさん働く極悪人になってしまったのかということだ。

貧しかったからか。確かにそれもあるかもしれない。しかし、それよりも彼をここまで極悪非道な人間にした大きな原因があるように思う。それは、彼が育ってきた生い立ちにあるように思う。きっと子どもの頃に「人に愛される」という経験をしてこなかったからではないかと想像する。人の優しさや思いやりに触れてこなかった人間は、人に優しさや思いやりをもてる人間になれるわけがない。

そしてもう一つ気になったのが、もし後を登ってくる罪人に犍陀多が降りると怒鳴らなかつたら、この物語はどんな結末をむかえていたのだろうかということだ。

これは勝手な想像だが、蜘蛛の糸は切れず犍陀多も他の罪人も助かったのではないだろうか。けれども、犍陀多に他の罪人を見捨てない良心がもしあったなら、極楽浄土で本当に楽しく暮らすことができるだろうか。生前の自分の罪の意識を心に負ったまま、本当に幸せに暮らしていけるのか。むしろ、地獄の苦しみから逃げることなどできないのではないだろうかと思うのだ。

もともとこの話は芥川龍之介が児童向けに書いた話である。

こんなにも悪いことをしてきた犍陀多にも、お釈迦様は一度だけチャンスを与えた。多分、誰にでも一度は与えるのだろう。

そのチャンスを生かせるかは、自分次第。自分がどんな状況に陥ったとしても、誰に対しても「人を思いやる気持ち」がもてるかもでないかでその人の物語は決まるのだろう。どちらにするべきかは言うまでもない。これまでを振り返らせ、これからはどうするのかを考えさせるために、彼は筆を執ったのだろうと考える。

話の最後に作者はハスの花のことを書いていた。興味をもった僕は、ハスの花について調べてみた。すると、ハスの花は、もともと仏教に関係がある花で、その純粋で清らかな白さやよい香りから「浄化」を表すことを知った。この浄化が、極楽浄土の魂を清めることに繋がり、神聖さを産み出している。また、多くの地域でハスの花は再生や復活を表すようだ。

このことから、物語の最初に出てきたハスの花は犍陀多のチャンスを期待させるものであったように思う。一方で、最後に出てきたハスは、犍陀多が再び地獄の底へと戻っても、極楽浄土では、犍陀多のことなど気にせず、いつも通りの清らかな日々が過ぎていく。そんな対照的な世界を表すために作者はハスの花を書いたのだと僕は思った

＜読書感想文 郡市市入選作品＞

## 2学期「ファインプレー賞（しののめ賞）」

今年度2学期の『ファインプレー賞』（しののめ賞）が決定しました。この賞は、日常の学校生活において、顕著な頑張りが見られた生徒（各学級から1名）に贈られるもので、終業式後に次の6名を表彰しました。受賞者には賞状と副賞を贈呈しました。おめでとうございます！副賞:[東雲うどん]なめらかでつるんとした食感と独特のコシの強さが特徴です。

### 【受賞者一覧】

1年A組	永井 瑛 都さん	1年BE組	能登 力 哉さん
2年A組	根岸 柚 奈さん	2年B組	永井 絢 遥さん
3年AD組	袴田 未 希さん	3年B組	落合 ひかりさん